

やまがた持続可能な農業推進コンクール 2023 表彰事例の概要

1 趣 旨

環境と調和した持続性の高い農業の展開や安全・安心な農産物の生産及び供給などを通して意欲的に経営や技術の改善に取り組み、地域社会の発展に貢献している生産者や、団体等を表彰する。その成果を広く紹介して、消費者の理解醸成を図るとともに、生産者の取組意欲を喚起し、山形県における人と環境に優しい持続可能な農業の取組の全県的拡大を図る。

2 表彰事例の概要

最優秀賞(山形県知事賞)

タイトル: みどり認定第1号! 未来につなぐ農業! <環境保全型農業部門>

【応募者】 農事組合法人魁(尾花沢市) 代表理事:鈴木文雄

【応募者の概要】

○栽培品目:水稲、そば、ミニトマト

※水稲の特別栽培: 9.6ha、そばの環境負荷低減事業活動実施計画認定に基づく堆肥の施用と栽培期間中農薬不使用の取組み:160ha

○構成員9人、雇用2人

【特徴的な取組】

○山形県環境負荷低減事業活動実施計画認定(通称「みどり認定」)の第1号。

○水稲とそばの全面積で地域内の牛ふん堆肥を施用し、土壌診断や生育診断を実施しながら効率的な施肥を行っている。

○法人設立以降、構成員が分散管理していた各種作業機械や設備を集約し、作業の効率化を図りながら、地域内の遊休農地を引き受け、農地の荒廃防止と維持に貢献している。



魁のそば栽培圃場



集約された乾燥調製設備

優秀賞(山形県農業協同組合中央会会長賞)

タイトル: 農商工連携によるイタリア野菜生産とGAPの取り組み <GAP部門>

【応募者】 かほくイタリア野菜研究会 GAP部会(河北町) 代表:牧野聡

【応募者の概要】

○経営規模:菜花、ブロッコリー、トレビス、チコリ等 1.75ha

※令和元年 山形県版 GAP 認証取得、令和5年やまがた GAP 認証取得 1.75ha

○構成員6人(GAP部会員)

【特徴的な取組】

○農作業安全の講習会に年1回以上、研究会員全員が出席し、危険個所当の情報共有を行っている。

○主要品目の栽培マニュアルを作成したことで、作業のムダを省くとともに、収量、品質を向上させた。



かほくイタリア野菜研究会



GAP研修会

優秀賞(エコエリアやまがた推進協議会会長賞)

タイトル: 女性の視点を活かして、GAPに取り組む！！

<GAP 部門>

【応募者】 株式会社EDEN(笑伝 えでん)(米沢市) 代表取締役社長:我妻拓也

【応募者の概要】

○経営規模:すいか、キャベツ、ほうれんそう等 7.53ha

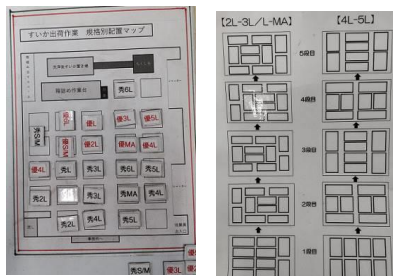
※令和3年 山形県版 GAP 認証取得、令和4年やまがた GAP 認証取得 5.59ha

○構成員5人

【特徴的な取組】

○社長にしかできない仕事を減らすことを目指し、従業員が「分からなかったこと」を中心にマニュアルを作成している。

○女性農業者を対象として研修会を開催した。その様子はTV等でも放送された。



マニュアル例:出荷物の配置と積み方



女性農業者を対象とした研修会

タイトル: GAPによる改善を活かした、消費者・従業員・環境にやさしく
調和のとれた稲作経営

<GAP 部門>

【応募者】 株式会社 加藤農園(酒田市) 代表取締役:加藤治彦

【応募者の概要】

○経営規模:水稲(主食用、飼料用)20.1ha

※令和元年山形県版 GAP 認証取得、令和4年やまがた GAP 認証取得 12.4ha

○構成員2人

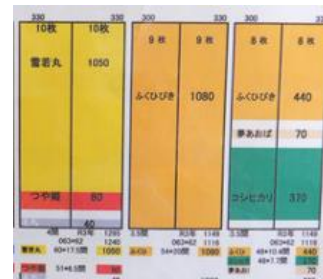
【特徴的な取組】

○事故防止のため道路上での作業時にパイロンを設置する、品種の混入を防止するため色分け管理するなど想定されるリスクに対する改善の積み重ねを継続している。

○ホームページを自社で作成し、GAP 認証、業務内容、品質管理についての情報を公開している。



道路でのパイロン設置



色分けされた育苗ハウスの配置図